

(4) 都市施設などの景観

まちなみ景観のうち、道路、公園などの都市基盤施設、あるいは学校や研究所などの教育研究施設、官公庁などの公共施設などによって構成される景観。

< 公園 >

手賀沼公園

ポプラ並木からメタセコイアにシンボルツリーが代わりました。



湖北台中央公園

緑豊かな公園が市民に親しまれています。



緑南作緑地（楚人冠公園）

小高い丘であり、クロマツ越しに手賀沼が望める数少ない眺望点です。



利根川ゆうゆう公園

利根川の河川敷をオープンスペースとして活用しています。



宮ノ森公園

竹内神社や布佐小学校から自由な行き来が可能となっています。

根戸船戸緑地

中拠点サインが設置されています。景観に調和した公共サインの統一を図ります。



手づくり公園

市民の手により公園がつけられています。

公園予定地

市が所有する手賀沼斜面林を市民と協働で維持管理しています。



古利根公園自然観察の森

みどりのボランティアの協力により、豊かな自然生態系を目指した森づくりが行われています。

< 道路 >

国道356号の沿道景観

水戸街道と成田街道の分岐点にあたる道標が残されています。一方、上空の電線が目につきます。



国道356号の沿道景観

屋敷林や生垣が伝統的な ^{おもむき}趣をみせています。



湖北台団地内のケヤキ並木

季節の移りかわりを感じさせる緑のトンネル。



我孫子駅南口駅前通り

電線類の地中化による無電柱化が図られ、歩道に植栽が施されています。



公園坂通り

我孫子駅から手賀沼公園へ、安全で歩いて楽しい歩行者空間の確保が必要です。



布佐駅東口駅前通り

歩行者スペースが不十分であり
安全性の確保と地区拠点として
の顔づくりが必要です。

手賀沼ふれあいライン

県道船橋我孫子線との交差点に
広告物などが乱立しており
雑然とした景観となっています。



手賀沼ふれあいライン

背が高く、表示面積が大きい
広告物が本市の特徴である
斜面林の眺望を遮断しています。



手賀沼ふれあいライン

色彩が鮮やかな屋上広告物の
表示面積が大きく、斜面上から
の手賀沼眺望を遮断しています。



ガードレール

安全を確保するためのガード
レールであるが、周辺の自然
環境に調和していない。

< 公共建築物等 >

鳥の博物館

個性的なデザインや色彩が周囲の環境に調和している。



アビスタ

手賀沼の水面と調和した屋根のデザインとタイルの質感が存在感を出しています。



近隣センター（こもれび）

既存樹木や地形を最大限残し、このことが緑豊かな周辺環境との連続性を保ち、既存景観によく溶け込んだ施設を生み出しています。



親水広場

公園と一体となった親水性の高い施設となっています。



湖北集水路

田園地帯の中を流れる集水路。自然の法面がのどかな印象を与えます。

